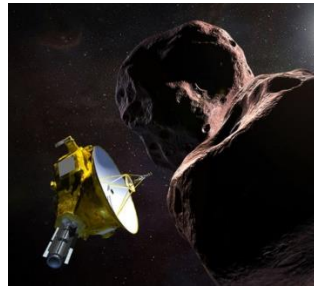
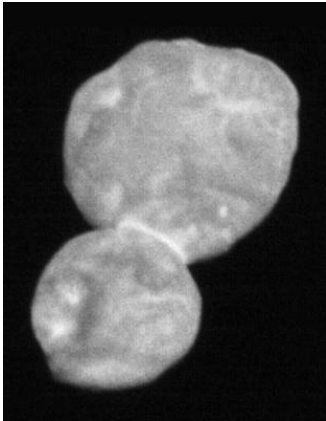


米探査の外縁天体は雪だるま形 1/3(木) 7:18 配信



[無人探査機ニューホライズンズが約 2 万 8 千キロの距離から撮影した太陽系外縁天体ウルティマトウーレ \(NASA 提供・共同\)](#)

【ローレル (米メリーランド州) 共同】米航空宇宙局 (NASA) は 2 日、無人探査機「ニューホライズンズ」が冥王星より先の太陽系外縁天体「ウルティマトウーレ」に接近した時に撮影した、これまでより鮮明な画像を公開した。大小二つの球がくっついた雪だるまのような形と分かった。

画像は天体に最も接近する 30 分前の米東部時間 1 日未明、約 2 万 8 千キロの距離から撮影した。天体の長さは約 30 キロとみられるという。

ウルティマトウーレは現時点で地球から 65 億キロ以上離れていて、探査機が訪れた天体としては最も遠い。

https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20190101-00000023-jiji_afp-sctch

米探査機「ニュー・ホライズンズ」、元日に史上最遠の天体をフライバイ



1/1(火) 17:11 配信

[米航空宇宙局が作成した、「ウルティマトウーレ」に接近する無人探査機「ニュー・ホライズンズ」のイメージ図 \(2018 年 12 月 21 日提供\)。](#)【翻訳編集】 AFPBB News

【AFP=時事】米航空宇宙局 (NASA) の無人探査機「ニュー・ホライズンズ (New Horizons)」は 1 日、歴史的な新年を迎えた。人類による観測史上、最も地球から遠く、最も古いとみられる天体「ウルティマトウーレ (Ultima Thule)」のフライバイ (接近通過) を実施したのだ。惑星の形成について、さらなる知見が得られると期待される。

[【写真】「ニュー・ホライズンズ」から届いたウルティマトウーレの画像](#)

これまで探査機が最接近に成功した最も遠い天体は冥王星だった。ウルティマトウーレは冥王星から、さらに 16 億キロ離れている。

1 日午前 0 時 33 分 (日本時間午後 2 時 33 分)、「カイパーベルト (Kuiper Belt)」と呼ばれる天体領域内にあり、地球から 64 億キロ離れたウルティマトウーレにニュー・ホライズンズのカメラが向けられると、米メリーランド州のジョンズ・ホプキンス大学 (Johns Hopkins University) 応用物理学研究所 (Applied Physics Laboratory) で見守っていた主任研究員のアラン・スターン (Alan Stern) 氏が「行け、ニュー・ホライズンズ！」と叫び、宇宙服姿の子どもたちなど集まっていた大勢の人々から歓声が上がった。

ニュー・ホライズンズはウルティマトウーレに約 3500 キロの距離まで接近し、フライバイで通過する数秒間に約 900 の画像を撮影する予定だ。

ただ、地球から送られた信号がニュー・ホライズンズに届くには 6 時間以上かかり、さらにニュー・ホライズンズからの応答が地球に届くまで 6 時間かかるため、ウルティマトウーレのフライバイ動画をリアルタ

イムで見ることは不可能だ。ニュー・ホライズンズからの最初の信号を NASA が入手できるのは、フライバイから約 10 時間たった 1 日午前 9 時 45 分（日本時間午後 11 時 45 分）前後となる見込み。米サウスウェスト研究所（Southwest Research Institute）の科学者、ジョン・スペンサー（John Spencer）氏は、「送られてくるデータを目にできるのは、もはや時間の問題だ」と語った。

英ロックグループ「クイーン（Queen）」のギタリストで天体物理学の博士号を持つブライアン・メイ（Brian May）氏も、「今夜は誰もが忘れられない夜になる」とコメント。メイ氏はニュー・ホライズンズミッションの精神に敬意を表し、ニュー・ホライズンズにささげるソロ曲をリリースすると公表している。【翻訳編集】AFPBB News

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20190103/k10011766471000.html>

世界初 中国探査機が月裏側に着陸成功 画像も公開 2019 年 1 月 3 日 16 時 29 分

中国の国営メディアは、無人の月面探査機「嫦娥 4 号」が 3 日午前、月の裏側への着陸に成功したと伝えました。月の裏側に探査機が着陸した例はなく、今後、アメリカやロシアなどとの宇宙での開発競争が一層激しくなりそうです。

中国は先月 8 日、無人の月面探査機「嫦娥 4 号」を打ち上げ、国営の中国中央テレビは、探査機が日本時間の 3 日午前 11 時 26 分、月の裏側に着陸したと伝えました。

中国は去年、別に打ち上げた衛星を使って探査機との通信を行っていて、中国中央テレビは「嫦娥 4 号」から月の裏側を撮影したとする画像も伝え、今後は搭載している探査車を走らせて月の表面の地質や資源などを調べるとしています。

月の探査をめぐるのは、おとし、アメリカのトランプ大統領が、国際宇宙ステーションとは別に月の周回上に宇宙開発の拠点となる施設を新たに造るよう指示するなど、再び重要性が高まっています。

一方で、月は常に同じ面を地球に向けていて地球から見えない裏側は電波が直接届かないため地球との通信が難しく、これまで探査機の着陸を成功させた例はありません。

中国政府は 2030 年までに世界の宇宙開発をリードする「宇宙強国」の仲間入りを果たすという目標を掲げていて、アメリカやロシアなどとの宇宙での開発競争が一層激しくなりそうです。

「未踏」の月の裏側 国の威信かけ着陸

地球からは見ることができない月の裏側は、地球と直接通信することができないため難易度が高く、中国としては宇宙開発の大国 アメリカとロシアに先駆けて探査を始めることになります。

これまでの観測で、月の裏側にはおよそ 46 億年前に月が誕生したころの状態がそのまま残っているとみられるほか、天体がぶつかってできたと思われるクレーターが多い一方、「海」と呼ばれる黒っぽい部分がほとんどないなど、地球から見えている表側とは地質や地形などが違うことがわかっています。

また月の表面には太陽の光が常に当たらない場所があり、そうした場所には人類が宇宙空間で長期間滞在するために必要な水が氷の状態で蓄えられていると考えられ、今回の探査で氷の存在などが直接確認されるのかも注目されています。

さらに、月の裏側は電波望遠鏡を置いて天体観測を行う場所としては妨げになる地球からの電波が届かないという点で有利な環境であることから、今回の探査で得られる情報は、将来、月面基地を造る場所の選定にも役立つと考えられています。

宇宙開発に力を入れる中国としては、どの国も成功していない月の裏側への探査機の着陸に国の威信をかけて挑んできただけに、国営メディアは探査機が初めて着陸し、画像を地球に送ることに成功したと大々的に伝え、国威発揚につなげるねらいもあるとみられます。

中国 次の段階では「月の岩石 持ち帰る」

中国の月の探査計画は宇宙開発の重要な柱として 2003 年にスタートし、3 つの段階に分けて進められています。

「第 1 段階」は「月の周回軌道から月の地形などを調べる」というもので、2007 年と 2010 年にそれぞれ探査衛星を打ち上げ、月の立体画像を撮影しました。

「第 2 段階」は「無人探査機を月面に着陸させて地質構造や資源などを調べる」というもので、2013 年に無人の探査車両を使って月面を調査しました。

今回の「嫦娥4号」もこの「第2段階」の1つです。

そして「第3段階」は「月の表面から岩石などのサンプルを地球に持ち帰る」というもので、来年・2020年ごろまでに無人探査機を2回打ち上げる計画です。

中国は一連の月探査計画の結果を踏まえたうえで、将来的には月の有人探査や月面基地の建設にも意欲を示しています。



<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%AB%A6%E5%A8%A5>

嫦娥（じょうが、こうが）は、[中国神話](#)に登場する人物。[后羿](#)の妻。古くは姮娥（こうが）と表記された。

目次

[1 伝説](#) [2 民間伝承](#) [3 嫦娥という単語の使用例](#) [4 脚注](#) [5 関連項目](#)

伝説

『[淮南子](#)』覽冥訓によれば、もとは[仙女](#)だったが地上に下りた際に不死でなくなったため、夫の后羿が[西王母](#)からもらい受けた不死の薬を盗んで飲み、[月](#)（[月宮殿](#)）に逃げ、[蟾蛙](#)（[ヒキガエル](#)）[\[1\]](#)になったと伝えられる（[嫦娥奔月](#)）。

別の話では、后羿が離れ離れになった嫦娥をより近くで見るために月に向かって供え物をしたのが、[月見](#)の由来だとも伝えている。

[道教](#)では、嫦娥を[月神](#)とみなし、「太陰星君」さらに「月宮黄華素曜元精聖後太陰元君」「月宮太陰皇君孝道明王」と呼び、[中秋節](#)に祀っている。

「姮娥」が本来の表記であったが、[前漢](#)の[文帝](#)の名が「恒」であるため、字形のよく似た「姮」を[避諱](#)して「嫦」を用いるようになった。のちに[旁](#)の「常」の影響を受けて読みも「じょうが」（に対応する中国語での発音）に変化した。

民間伝承

[海南島](#)などでは、8月15日（[中秋節](#)）の晩に少女たちが水をはった器の中に[針](#)を入れて嫦娥（月娘）に自分の運命の吉凶を示してもらおう、という習俗があった。針がすっかり沈んでしまって少しも浮かばないと運命は凶であるという[\[2\]](#)。

嫦娥という単語の使用例

嫦娥という単語は「月の女神」あるいは「天女」という語義で使用されることもある。[アメリカ](#)で出版されたウィリアム・スウィントン(William Swinton)による[英語](#)のリーダー『Swinton's Fifth Reader and Speaker』（1883年）では同書の17章にあたる「The Moon-Maiden」[\[3\]](#)で、日本の[駿河国](#)（[静岡県](#)）を舞台として羽衣をもつ仙女を登場させ、それを「Moon-Maiden」の単語を用いて表現しているが、それを[邦訳](#)した『スウィントン氏第五読本直訳』（1889年）では、「Moon-Maiden」をすべて「嫦娥」と翻訳している[\[4\]](#)。

<https://kotobank.jp/word/%E5%AB%A6%E5%A8%A5-530746>

嫦娥（読み）ジョウガ

[デジタル大辞泉](#)の解説 じょう - が〔ジャウ - 〕【嫦娥】

1 中国、古代の伝説上の人物で、月に住む仙女。羿(げい)の妻で、夫が[西王母](#)からもらい受けた[不死](#)の薬を盗んで飲み、[月](#)に入ったといわれる。[姮娥](#)(こうが)。転じて、[月](#)の異称。

2 ⇒ [嫦娥計画](#)

出典 [小学館](#) デジタル大辞泉について [情報](#) | [凡例](#)

[百科事典マイペディア](#)の解説 **嫦娥【じょうが】**

中国神話の月神。常娥，【[こう](#)】娥とも書く。夫の【[げい](#)】が西王母から得た不死の薬を盗み，月へ逃げた。そのまま月に住み蟾蜍(せんじょ) ([ガマ](#)) になったという。転じて月の異名。月兔譚，桂樹伝説，[かぐや姫](#) 伝説の祖。

出典 株式会社平凡社百科事典マイペディアについて [情報](#)

[世界大百科事典 第2版](#)の解説 **じょうが【嫦娥 Cháng é】**

中国神話にみえる月神。常娥，常羲(じょうぎ) などとも書く。《[山海経](#) (せんがいきょう)》大荒西経に，帝俊の妻常羲が月十二を生み，大荒の日月山で浴することがみえる。帝俊は文献にいう羿で，もと太陽神。《[淮南子](#) (えなんじ)》覽冥訓に，羿(げい) が不死の薬を西王母に求めたところ，嫦娥がこれを窃(ぬす) んで月に奔(はし) ったことがみえ，そこでは嫦娥は羿の妻と解されている。月に奔った嫦娥は月中の蟾蜍(せんじょ) (がま) となり，月の精となった。

出典 株式会社平凡社世界大百科事典 第2版について [情報](#)

[大辞林 第三版](#)の解説 **じょうが【嫦娥】**



① [淮南子 覽冥訓・後漢書 天女志](#) 中国、古代伝説上の人物。夫の羿(げい) が西王母からもらいうけた不死の薬を盗み，月に逃げ込み墓がまに変わったと伝えられる女。姮娥(こうが)。

② 月の異名。

出典 [三省堂大辞林 第三版](#)について [情報](#)

[日本大百科全書\(ニッポニカ\)](#)の解説 **嫦娥じょうが**

中国古代の伝説に登場する女性。姮娥(こうが)ともいい、弓の名人羿(げい)の妻。嫦娥は、夫の羿が崑崙(こんろん)山に住む女仙の西王母(せいおうぼ)からもらい受けた不死の薬を盗み出し、それを服用したのち、月世界へ昇ってガマガエルに化したと伝えられる。嫦娥を仲立ちとして不死の薬と月が結び付いたのは、人々が永遠に変わることなく満ち欠けを繰り返す月に不死性を感じ取ったためと思われる。またガマガエルに変身したというのも、月影をカエルに見立てた古代の中国人の観念によるものであろう。しかしのちになると、醜いカエルに化したという伝承は消失し、嫦娥はただ1人で月中に孤独をかこつ憂愁の美女と考えられるようになった。そうした嫦娥の姿を唐代の詩人たちは、しばしば詩に月を読み込むときの素材としている。[桐本東太]

出典 小学館 [日本大百科全書\(ニッポニカ\)](#) [日本大百科全書\(ニッポニカ\)](#)について [情報](#) | [凡例](#)

[精選版 日本国語大辞典](#)の解説 **じょう - がジャウ・【嫦娥】**

〔名〕 月の世界に住むといわれる[仙女](#)。転じて、月の異称。姮娥(こうが)。

※[経国集](#) (827) 一〇・奉和関山月 [滋野貞主](#) 「嫦娥如有レ意、応二照妾汎瀾一」

※[草枕](#) (1906) [夏目漱石](#) 七「[桂の都](#)を逃れた月界の嫦娥が」 [李商隠 - 常娥詩]

[補注]もと「姮娥(こうが)」といわれており、「淮南子 - 覽冥訓」やその高誘注によると、羿(げい)の妻であったが、羿が西王母から得た不死の薬を盗んで飲み、月に逃げたという。漢の文帝の諱「桓」を避けて「姮」を「嫦(こう)」と書いたが、後にこの字が「ジョウ」と読まれるようになった。